

VI 住宅について

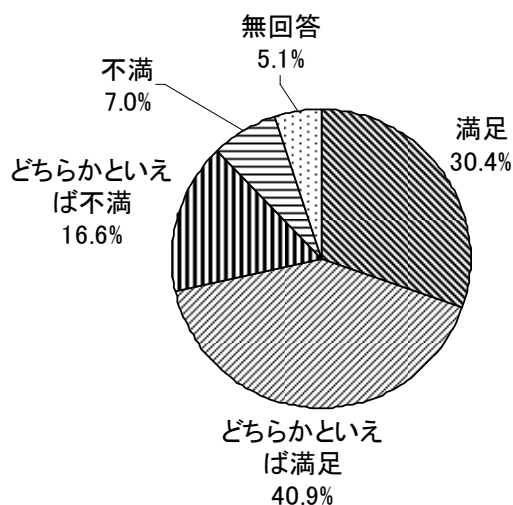
問8 現在居住している住宅・住宅施策について

8-1 あなたは現在のお住まいに満足していますか。(○は1つ)

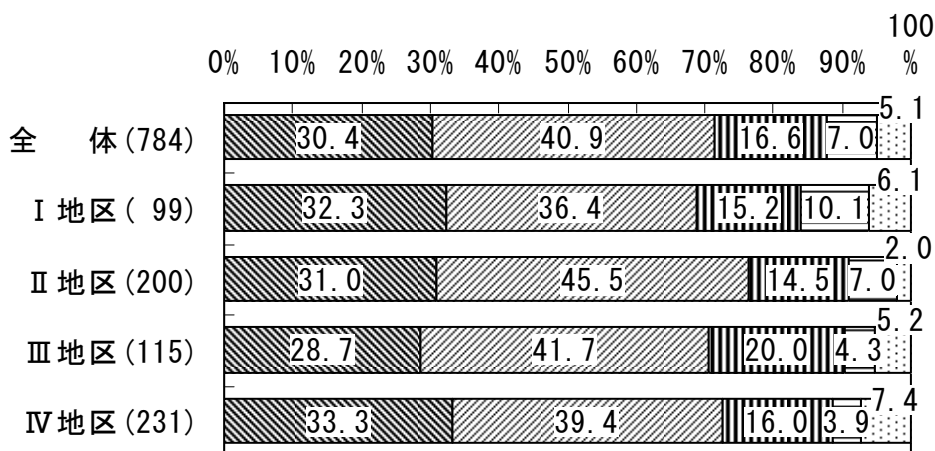
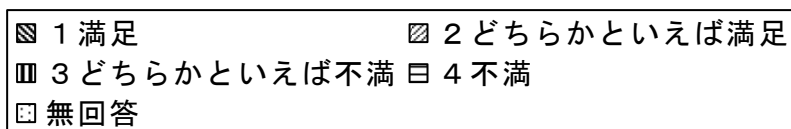
現在の住まいについては、「どちらかといえば満足」(40.9%)が一番多く、次いで「満足」(30.4%)、「どちらかといえば不満」(16.6%)、「不満」(7.0%)の順となっている。地区別では、「満足」はIV地区がやや高く、「どちらかといえば満足」まで含めるとII地区が高くなっている。性別では、ほとんど差がない。性年齢別では、70歳以上の男女の満足度が高い。

ライフステージ別では、高齢期と家族成長前期の満足度が高い。家族構成別では、「親と子どもと孫(三世家族)」と「親と子ども夫婦(二世家族)」の満足度が高い。家族人数別では、概ね家族人数が多いほど満足度が高い。住居所有形態別では、「持家」の満足度が高い。

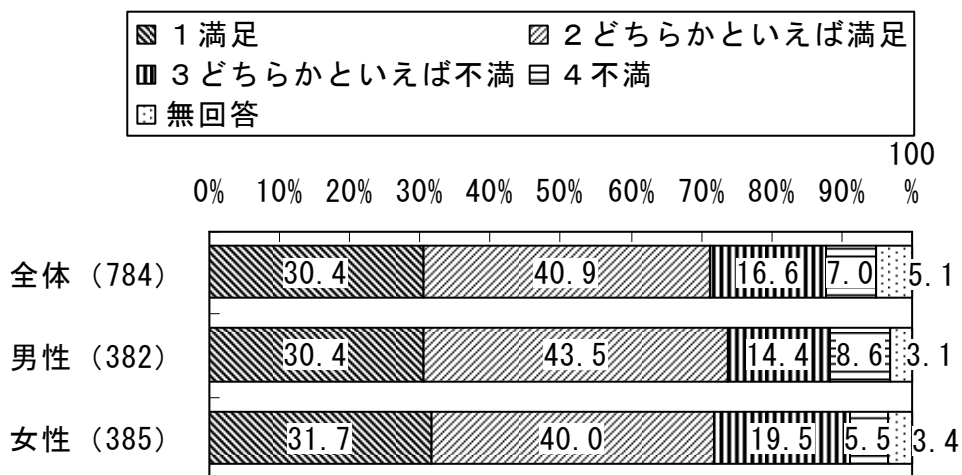
n = 784



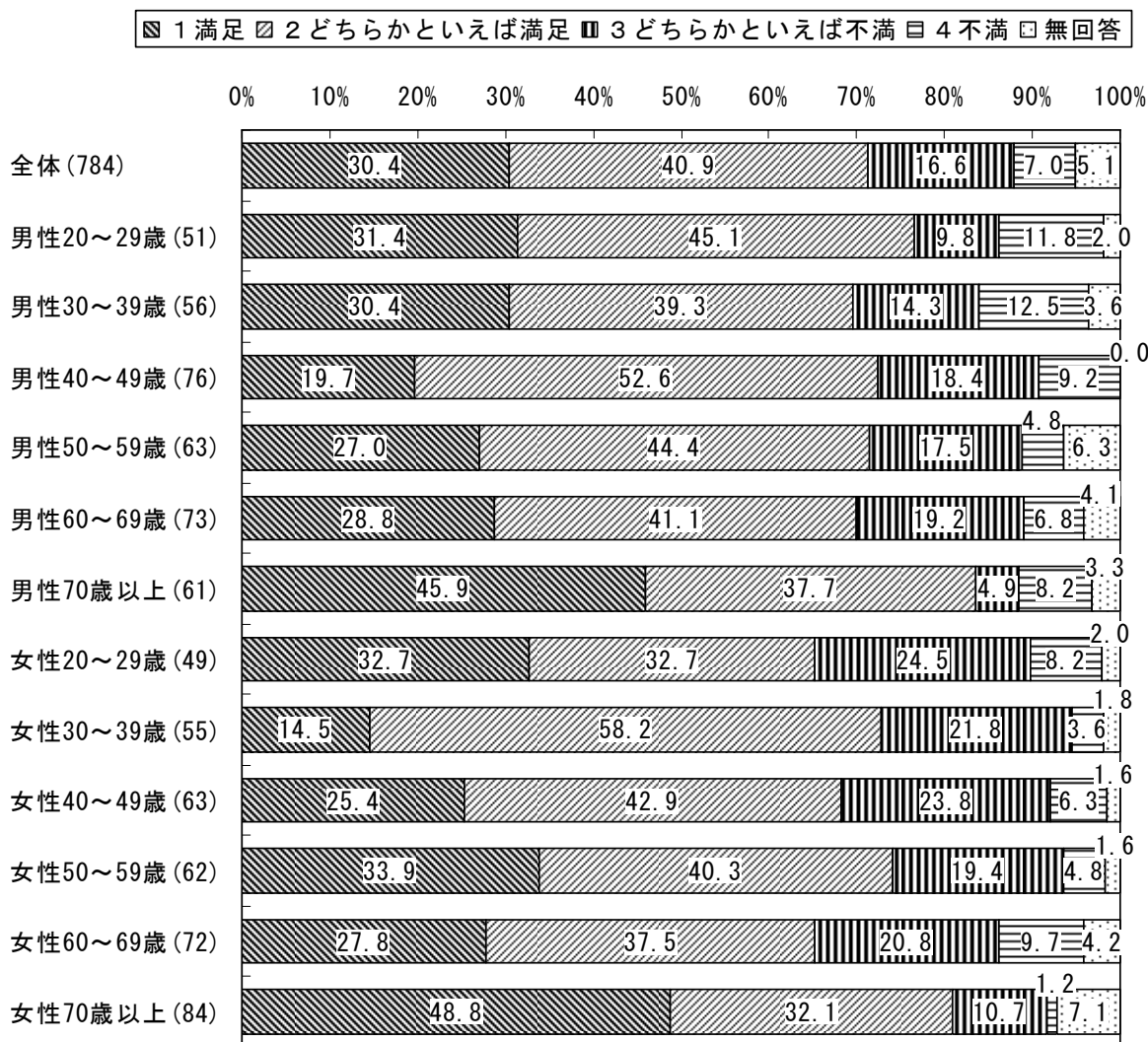
<地区別>



<性別>

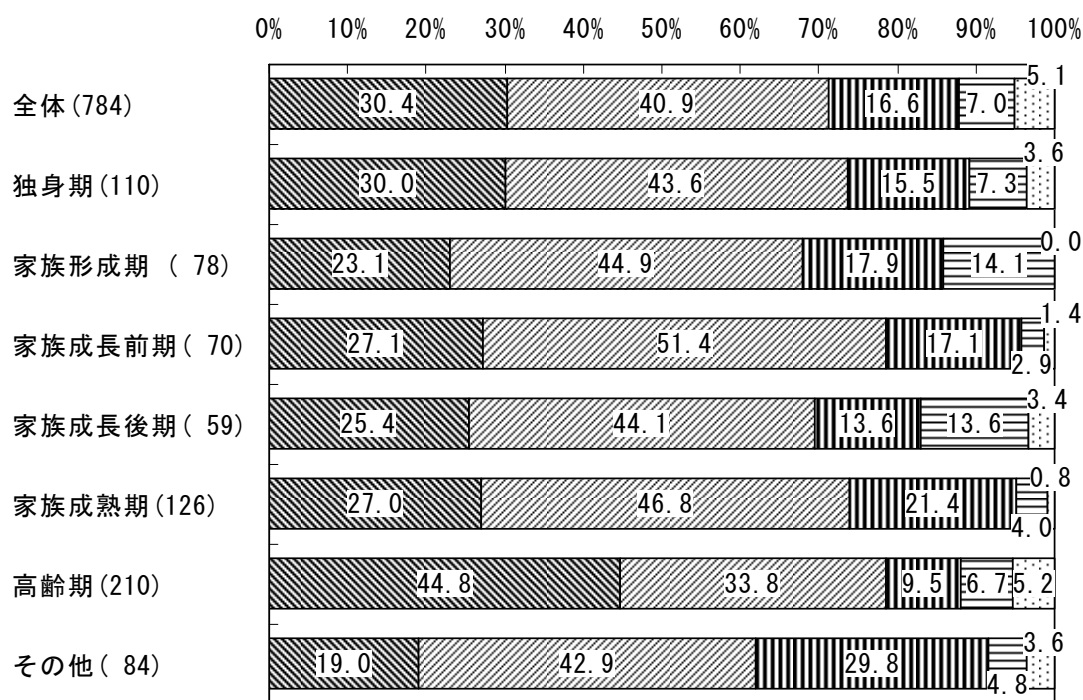


<性年齢別>



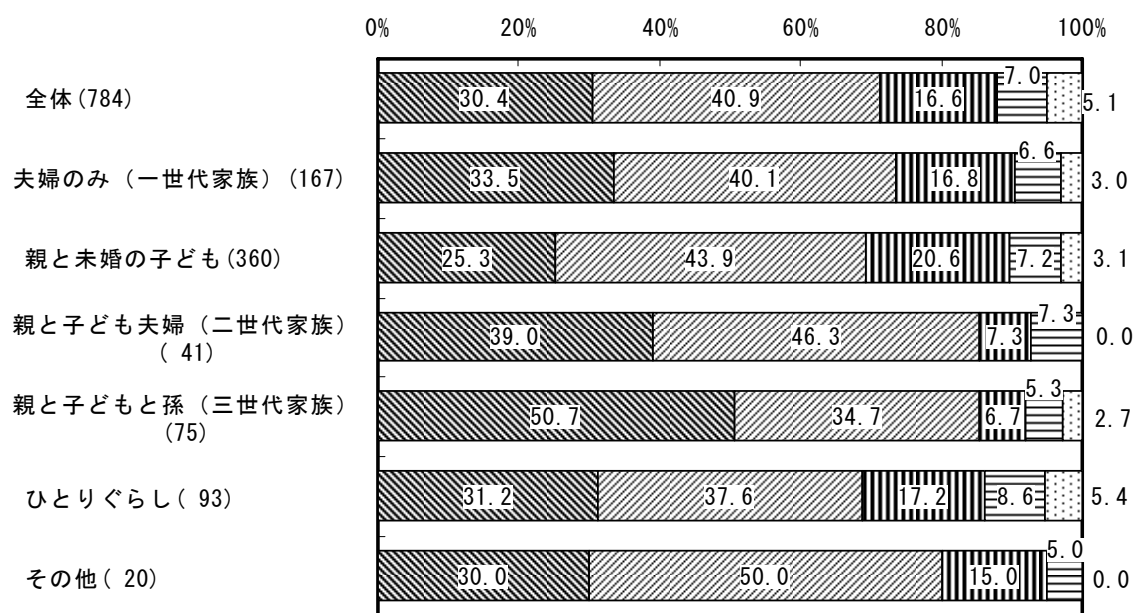
<ライフステージ別>

■ 1 満足 □ 2 どちらかといえば満足 ▨ 3 どちらかといえば不満 □ 4 不満 □ 無回答

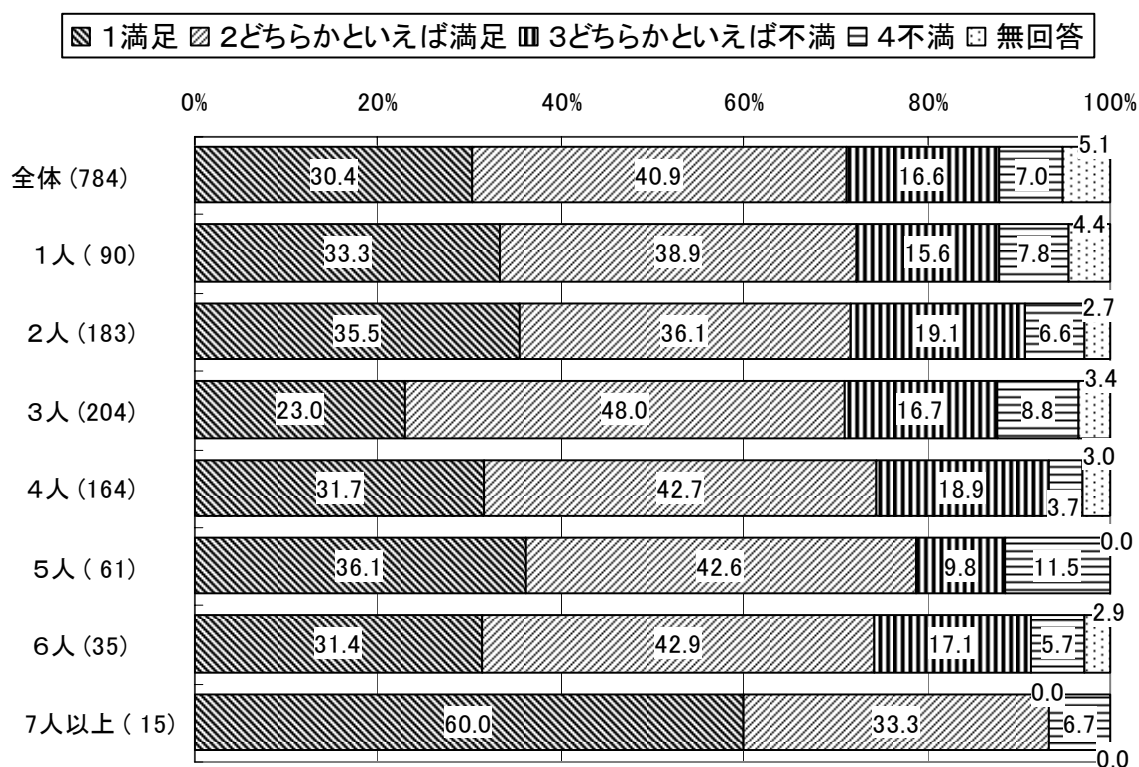


<家族構成別>

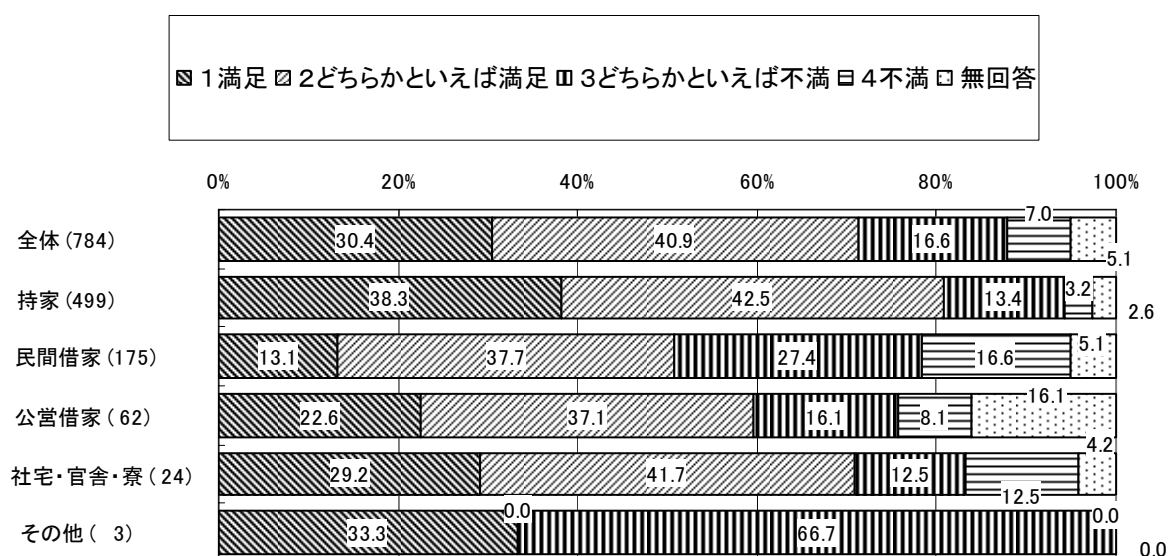
■ 1 満足 □ 2 どちらかといえば満足 ▨ 3 どちらかといえば不満 □ 4 不満 □ 無回答



<家族人数別>



<住居所有形態別>



8-2 区民のための住宅施策として、区や都・国にあなたが望むこと、今後力を入れてほしいと思うことを選んでください。(〇は3つ以内)

区や都・国に今後力を入れてほしい住宅施策は、「農地・緑地を保全するなど周辺の自然環境が壊されないようにしてほしい」(31.4%)、「高齢者・障害者などのための福祉型住宅を充実してほしい」(30.6%)、「不動産にかかる税を軽減してほしい」(29.2%)、「道路・公園などの基盤整備を進めるなど、まちづくり事業を積極的に展開してほしい」(24.9%)、「家賃の安い公的住宅を作してほしい」(24.4%)、「建替・修繕や生け垣化、省エネルギー化など住宅の質を向上させるための融資・助成制度を充実してほしい」(22.6%)が主なものである。

地区別では、Ⅰ地区では「家賃の安い公的住宅を作してほしい」が他地区と比較して高い。Ⅱ地区では「農地・緑地を保全するなど周辺の自然環境が壊されないようにしてほしい」と「建替・修繕や生け垣化、省エネルギー化など住宅の質を向上させるための融資・助成制度を充実してほしい」が他地区と比較して高い。Ⅲ地区では「道路・公園などの基盤整備を進めるなど、まちづくり事業を積極的に展開してほしい」が他地区と比較して高いなど、地区により望む施策が異なる。

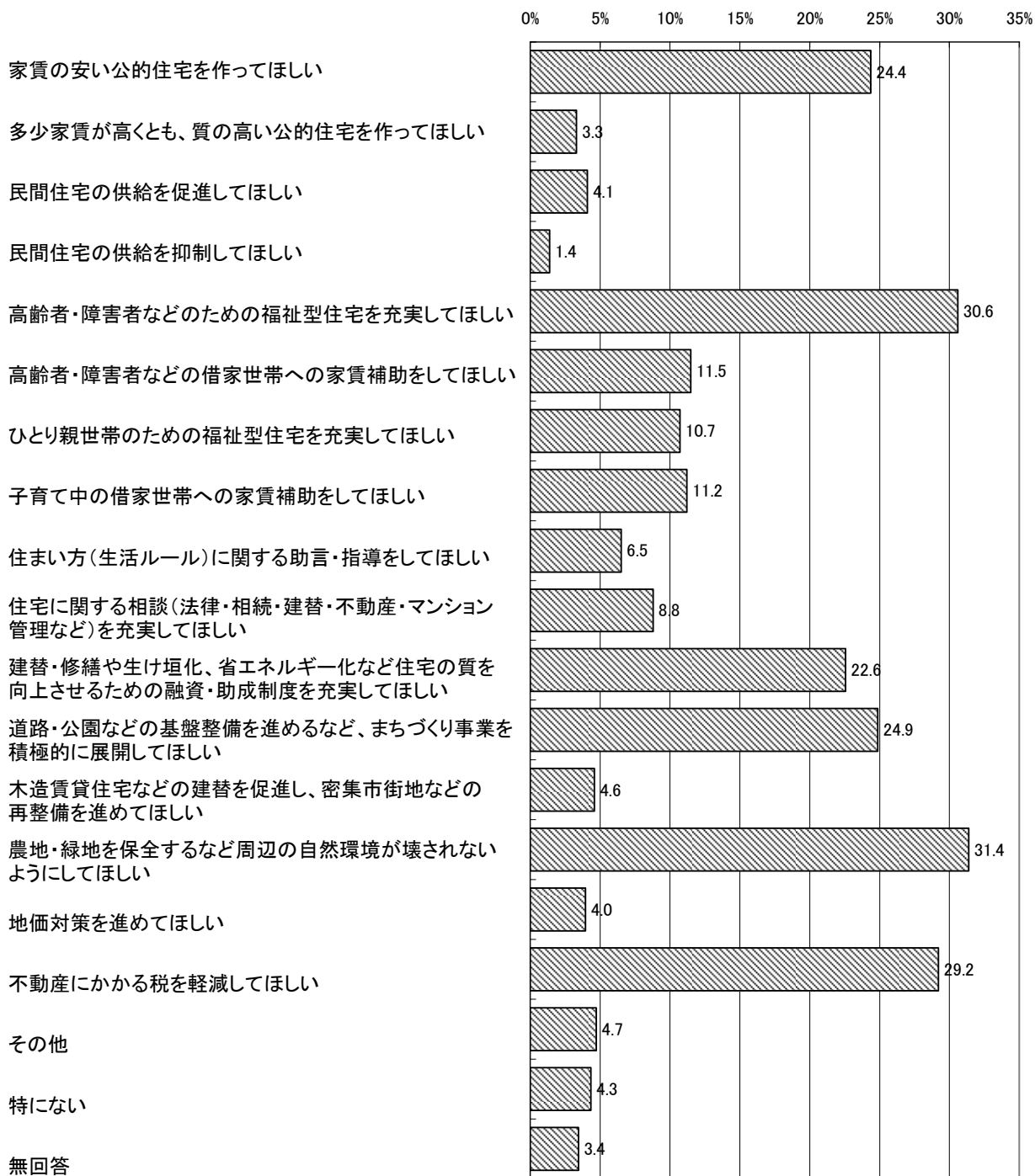
性年齢別では、20歳代女性の「家賃の安い公的住宅を作してほしい」、60歳代男性の「高齢者・障害者などのための福祉型住宅を充実してほしい」の比率が突出して高い。

ライフステージ別では、独身期の「家賃の安い公的住宅を作してほしい」、家族形成期の「不動産にかかる税を軽減してほしい」「子育て中の借家世帯への家賃補助をしてほしい」、家族成長前期の「道路・公園などの基盤整備を進めるなど、まちづくり事業を積極的に展開してほしい」「建替・修繕や生け垣化、省エネルギー化など住宅の質を向上させるための融資・助成制度を充実してほしい」、家族成熟期と高齢期の「高齢者・障害者などのための福祉型住宅を充実してほしい」が比較的高い。

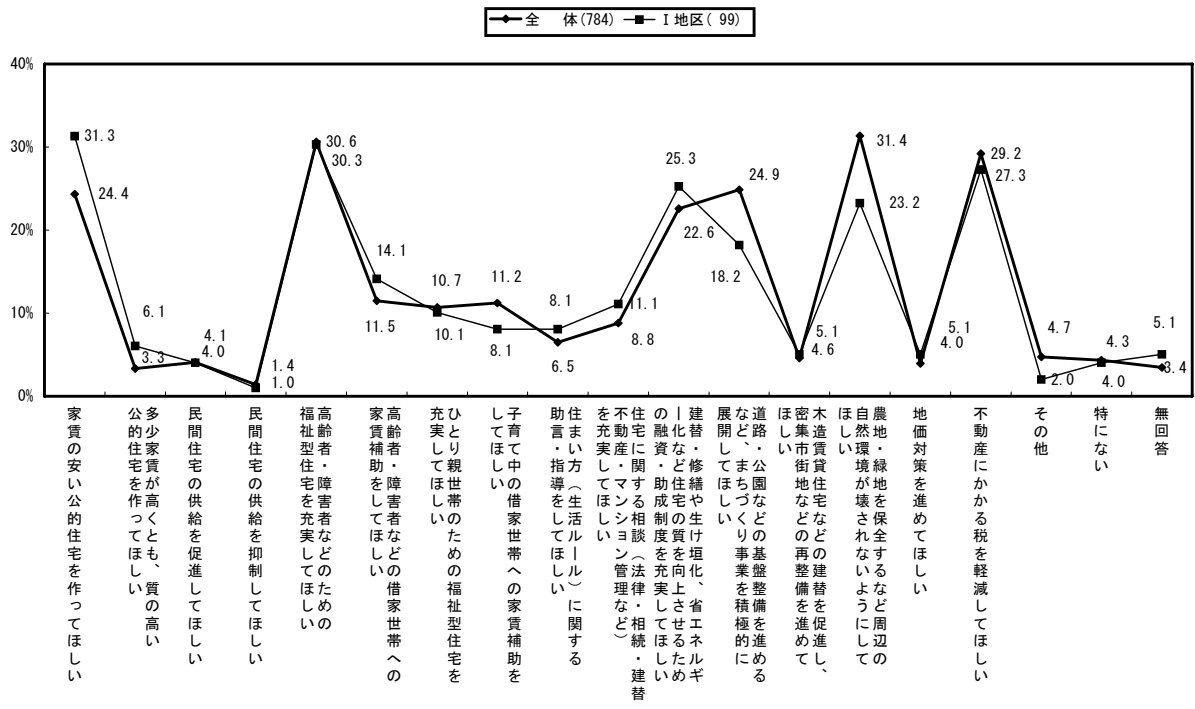
家族構成比別では、ひとりぐらしの「家賃の安い公的住宅を作してほしい」「高齢者・障害者などの借家世帯への家賃補助をしてほしい」、親と子ども夫婦(二世帯家族)の「農地・緑地を保全するなど周辺の自然環境が壊されないようにしてほしい」「道路・公園などの基盤整備を進めるなど、まちづくり事業を積極的に展開してほしい」「不動産にかかる税を軽減してほしい」が比較的高い。

住居所有形態別では、公営借家に住んでいる人は「家賃の安い公的住宅を作してほしい」「高齢者・障害者などのための福祉型住宅を充実してほしい」「高齢者・障害者などの借家世帯への家賃補助をしてほしい」の比率が高い。民間借家に住んでいる人は「家賃の安い公的住宅を作してほしい」「子育て中の借家世帯への家賃補助をしてほしい」の比率が高く、安い家賃で借りられるようにしてほしいという要望がうかがわれる。持家に住んでいる人は「農地・緑地を保全するなど周辺の自然環境が壊されないようにしてほしい」「不動産にかかる税を軽減してほしい」の比率が高い。

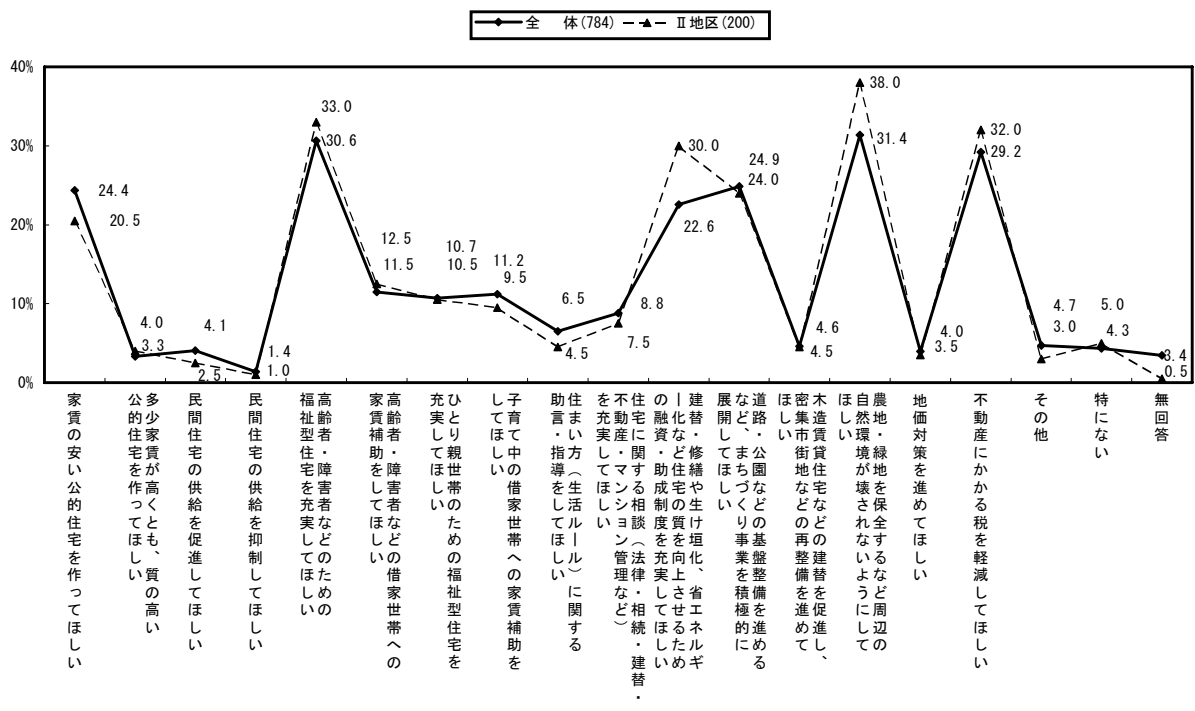
n = 784



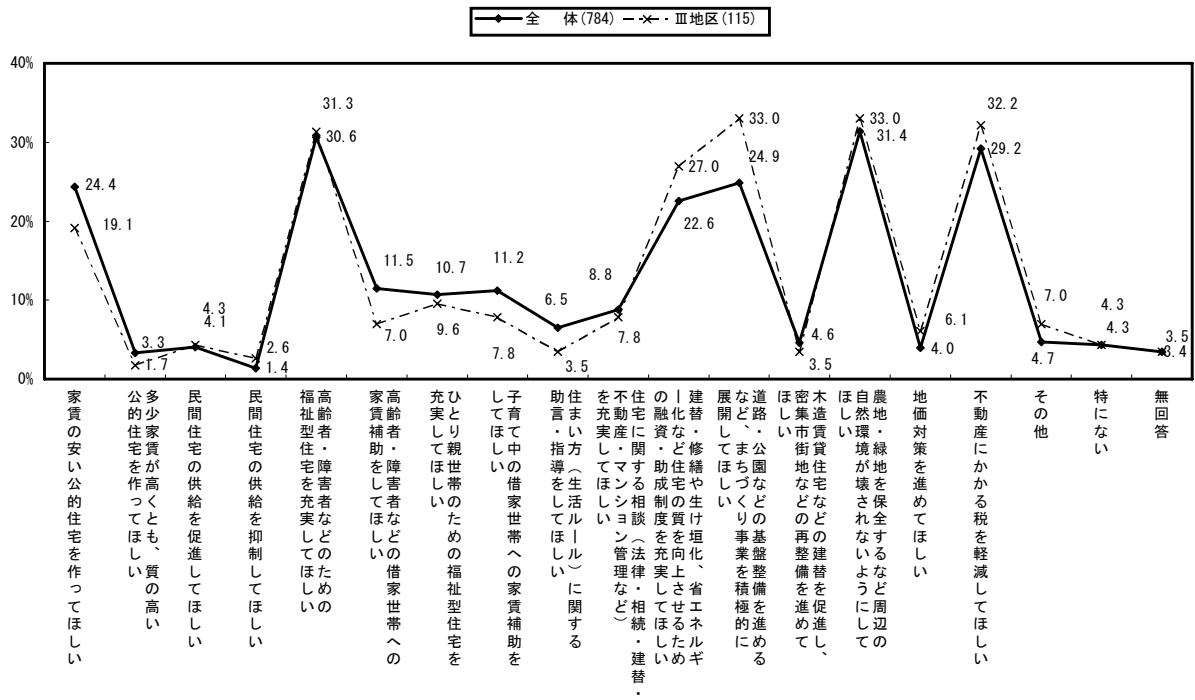
< I 地区 >



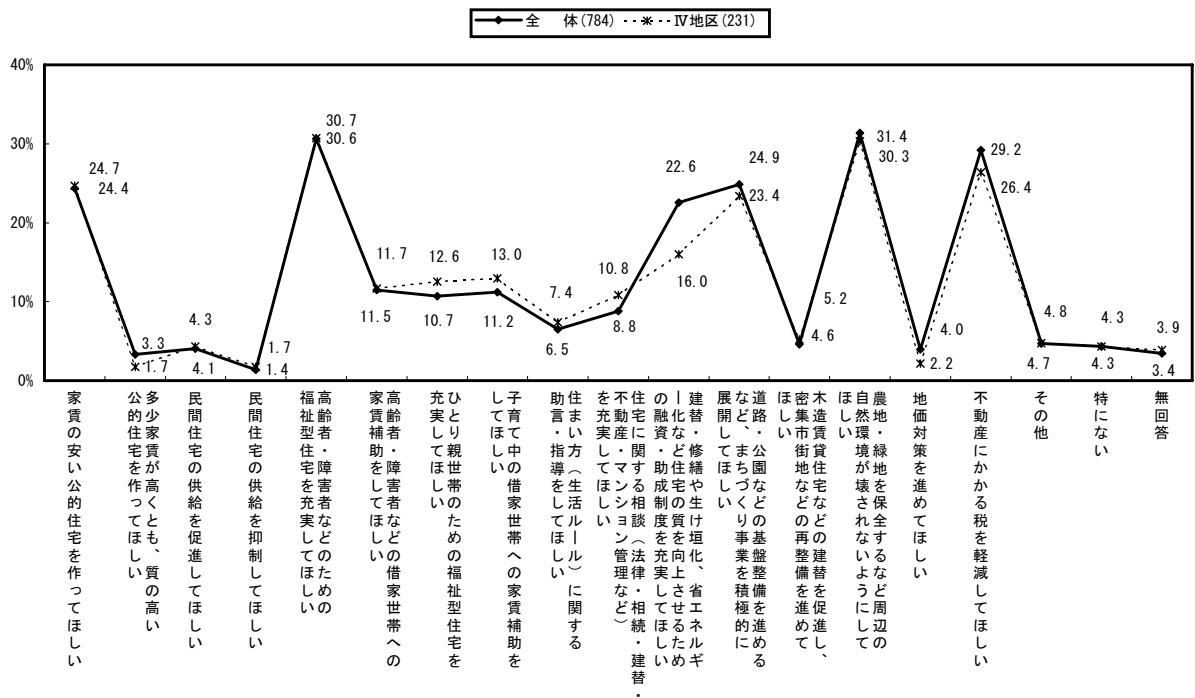
< II 地区 >



<Ⅲ地区>

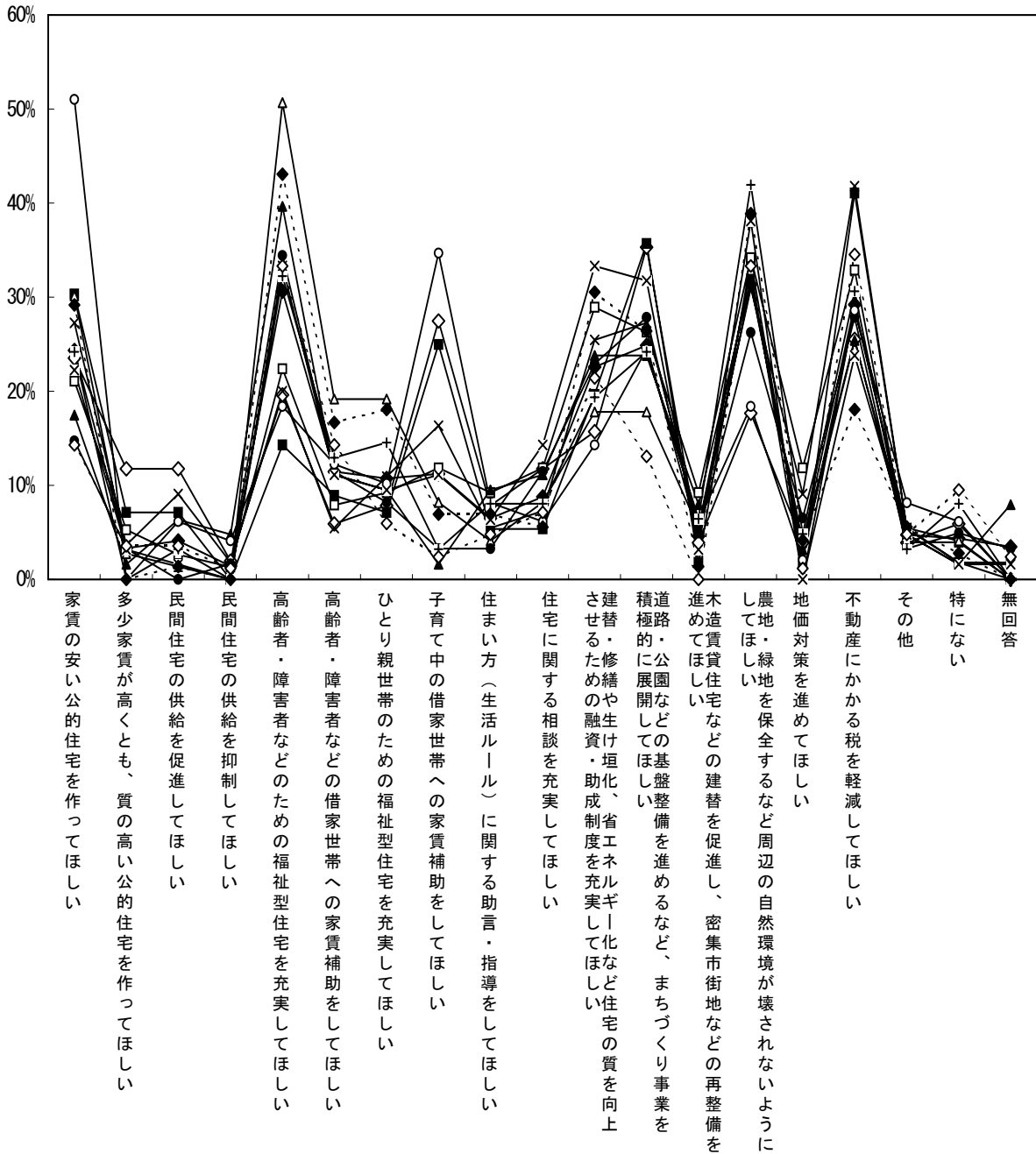


<Ⅳ地区>

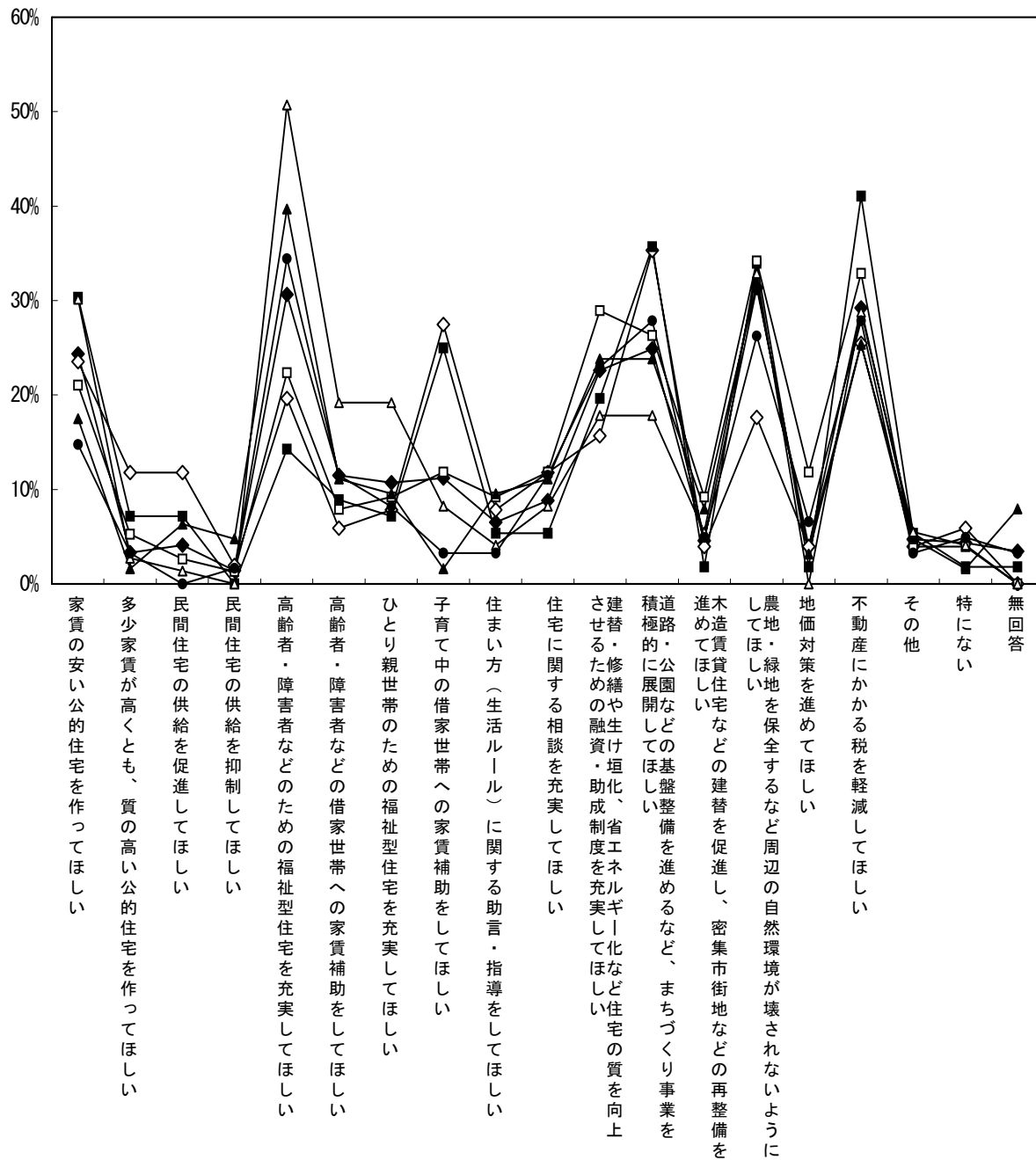
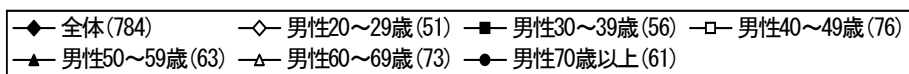


<性年齢別 全体>

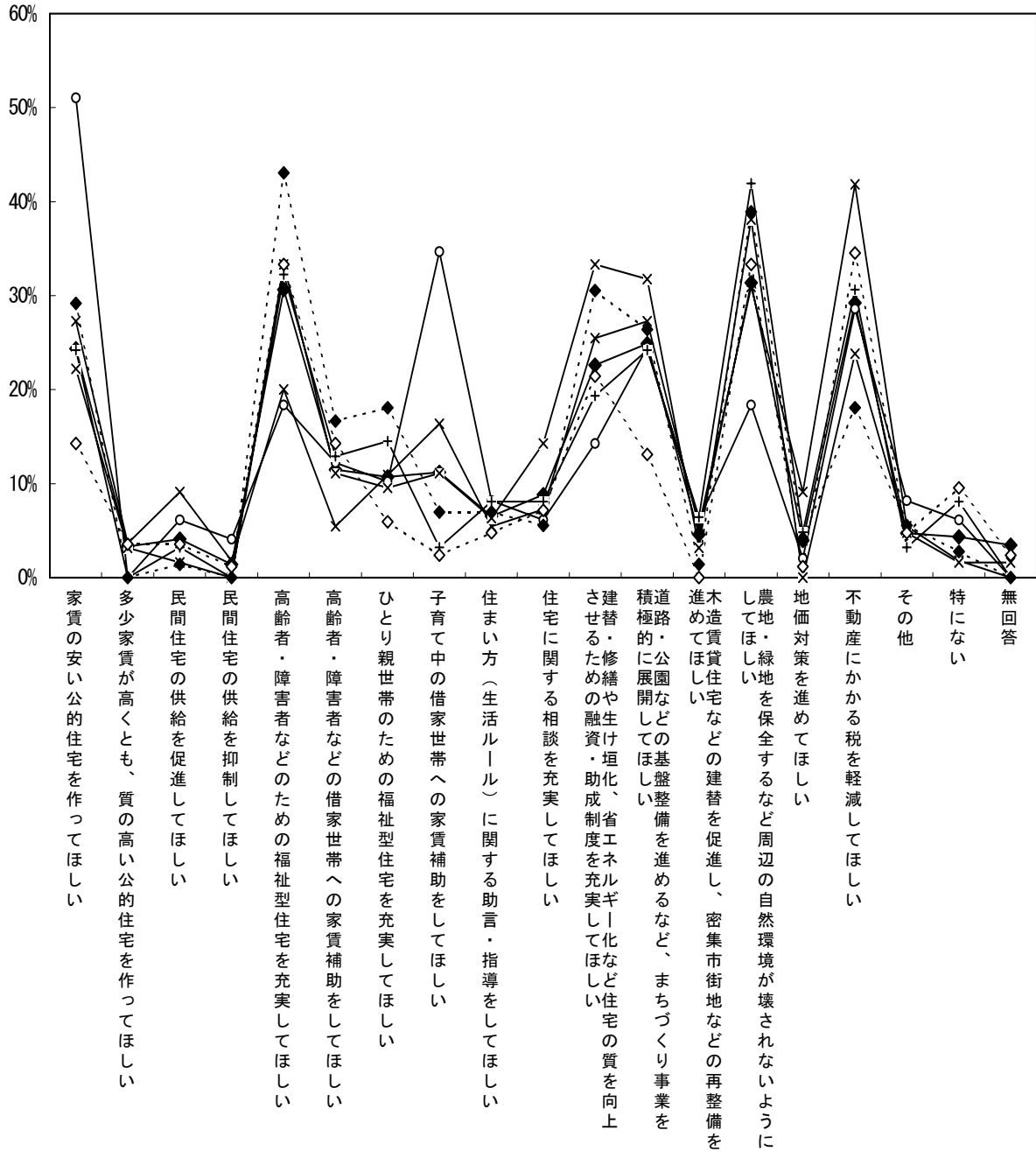
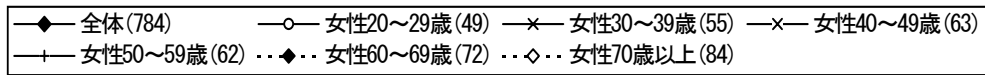
◆ 全体(784)	◇ 男性20~29歳(51)	■ 男性30~39歳(56)	□ 男性40~49歳(76)
▲ 男性50~59歳(63)	△ 男性60~69歳(73)	● 男性70歳以上(61)	○ 女性20~29歳(49)
× 女性30~39歳(55)	× 女性40~49歳(63)	+ 女性50~59歳(62)	◆ 女性60~69歳(72)
◇ 女性70歳以上(84)			



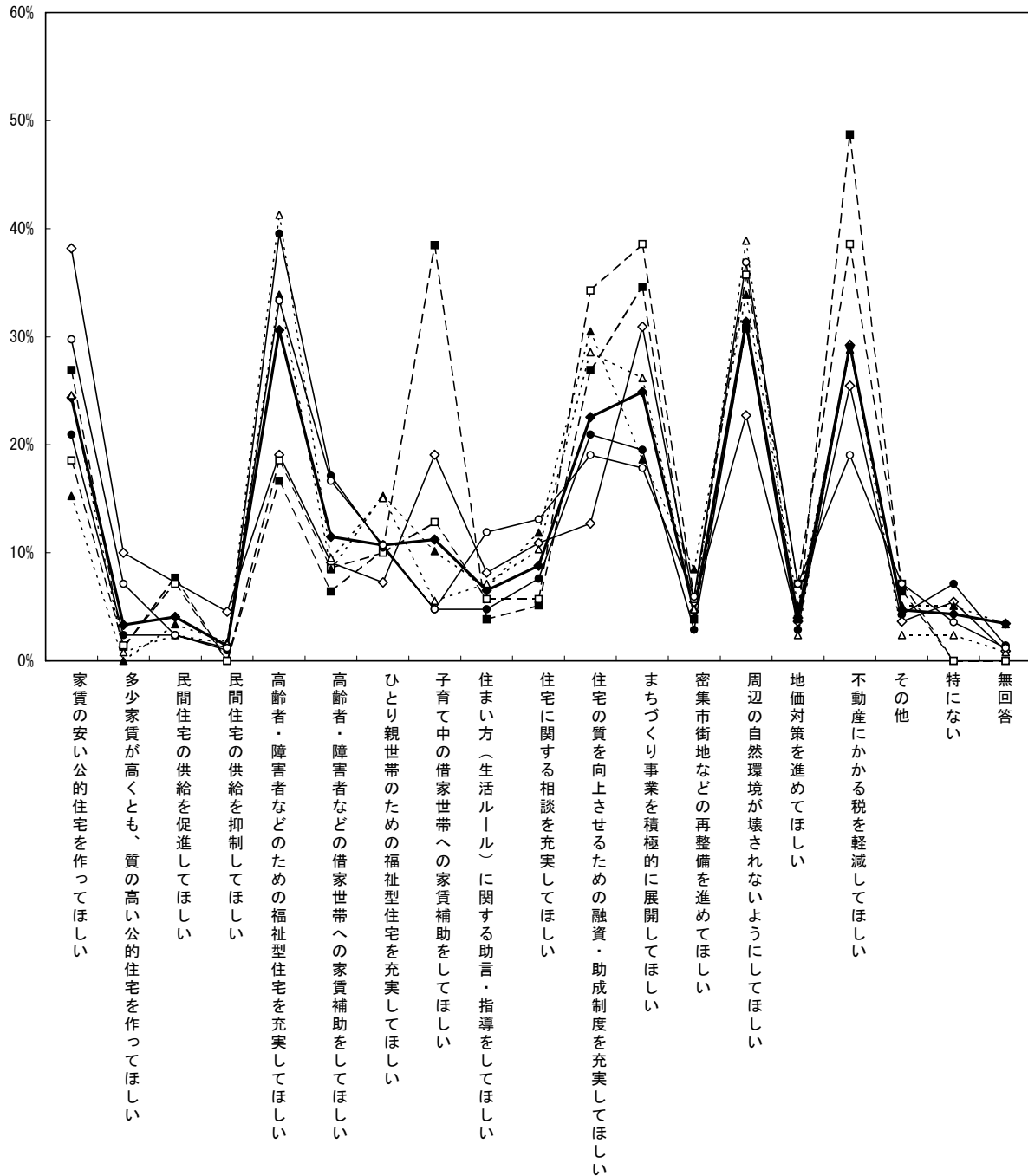
<性年齢別 男性>



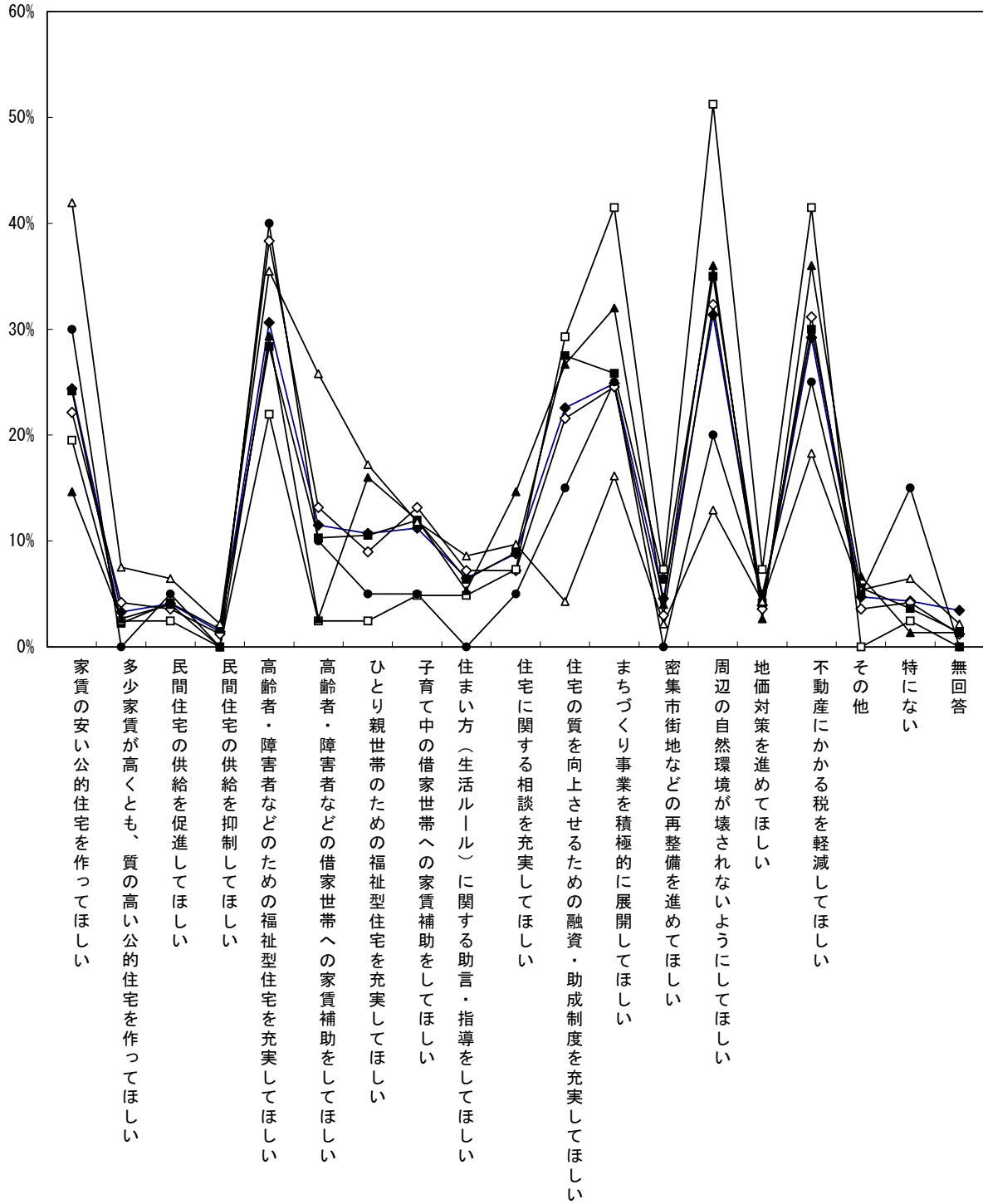
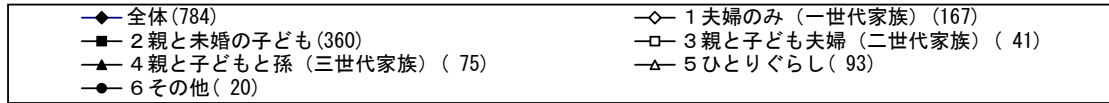
<性年齢別 女性>



<ライフステージ別>



<家族構成別>



<住居所有形態別>

